

人名一覧

あ いしかわ さだすけ
石川 貞助 24

いずはら ろくろうぎ えもん しげふさ
伊豆原 六郎左衛門 重房 37

いっしき かんじろう うじむね
一色 勘次郎 氏宗 18

おおおか えちぜんかみ ただたか
大岡 越前守 忠敬 (第7代) 12

おくに ばあさん 13

おだ のぶなが
織田 信長 21

おの だ またぞう
小野田 又蔵 31、32、36

か かすや げん ぎ えもん
糟谷 源左工門 42

ぎゆうあん おしろう
牛庵 和尚 26

ぎようかん じたつ ぼう
行観 自達 坊 10

ぎようき
行基 16

きょうりよう ほうくэн
教了 芳訓 16

ぎようれんしゃ じゆんよ せいげん おしろう
暁蓮社 順誉 清元 和尚 41

くの たろう えもん
久野 太郎右衛門 12

くまぎき そうじろう
熊崎 惣二郎 17

けいゆう あじやり
慶祐 阿闍梨 15

げんこう
源晃 37

げんじよう
源浄 37

げんしん そうず
源信 僧都 15

げんつう だいおしろう
玄通 大和尚 26

こうがい じようくう おしろう
劫外 乗空 和尚 24

こじま へいべ え
小嶋 平兵衛 16、17

さ さかい こへ え
酒井 伍兵衛 21

さかい ただつぐ
酒井 忠次 43

さかい ぶんすけ としきだ
坂井 文助 利貞 21

さかい としども
坂井 利知 21

さかい としつぐ
酒井 利承 22

じけん
慈顕 37

しばた かついえ
柴田 勝家 43

しゆんこく ほうし
春谷 法師 15

しんざん でん おう
真山 伝翁 26

ぜんきゆう ほういん
善久 法印 11

た たくろうん にんせい あじやり
沢雲 仁清 阿闍梨 10

たくりよう きよううん だいおしろう
沢良 教雲 大和尚 29

つかざき しろうへい
塚崎 四郎平 15

つかもと げんだゆう のぶもり
塚本 源大夫 信盛 36

つけ どうまん
柘植 道満 19

とくがわ よしなお
徳川 義直 21

とよとみ ひでよし
豊臣 秀吉 21

な ののやま とう えもん みまうえん
野々山 宇右衛門 (明円) 17

ばいきよう
梅橋 39

ふかや にさぶろう にんおう おしろう
深谷 仁三郎 (仁翁 和尚) 26

ほんだ しもうきのかみ としつぐ
本多 下総守 俊次 28

ほんだ だんじよう しょうひつ
本多 弾正 少弼 42

ま まつだいら ただよし
松平 忠吉 21

や ゆうかん
祐閑 37

よしひと しんのう たいしろう てんのう
嘉仁 親王 (大正 天皇) 13

ら れんによ しょうにん
蓮如 上人 34

用語集

あいきゆう

相給…一つの村に複数の領主が存在すること。

あんぎや

行脚…諸国をめぐること。

かんじょう

勧請…神仏を地元にお迎えして安置すること。

かんじん

勧進…寺院の建立・修繕などのため、寄付を募ること。募金活動。

きしん

寄進…神社や寺院に、金銭や物品、土地などを寄付すること。

ころも

挙母…豊田加茂7市町村合併（2006年）以前の豊田地域の旧称。

しんめいづくり

神明造…伊勢神宮の正殿に代表される、神社建築の形式のひとつ。切妻造り・平入りで、屋根に千木・堅魚木をのせる。

だいさん

代参…仲間のうちで代表者を立て、遠隔地の社寺へ代表して参詣するしくみ。

ちんじゆ

鎮守…その土地を守るために祭られた神。

にしおおひらはん

おおおかえちぜんのかみ

西大平藩…藩主は大岡越前守。藩主は参勤交代せず、ずっと江戸に居住していた。現在の岡崎市に陣屋があった。現在ののみよし市の多くは西大平藩の領地の一部であった。

にゆうじょう

入定…修行の果てに即身仏となること。

ぬかた

額田県…明治4年（1871）12月～翌年11月まで設置されていた県で、三河地方と知多半島を領域とした。

ぶじょう

奉請…尊敬の念をもってお招きし加護を願うこと。

ほういん そくりよ いかい

法印…僧侶の位階の最上位。

ほうさい

奉斎…（神仏などを）まつること。

むなふだ

棟札…建築物の創建や修理の際、建築の年月日、建築主、施工者などを木札などに記して、棟や梁などに打ち付けたもの。

りょうぶづく

両部造り…巖島神社の鳥居に代表される、鳥居の本柱の2本の前後にそれぞれ控え柱を設け、貫でつなげたもの。四足鳥居。

わりもと

割元…江戸時代の村役人の一つ。複数の庄屋の中心となって、年貢の割り当てや代官の命令の伝達などを行った。